

# 2023年度 株主・投資家との対話の実施状況

## 株主との建設的な対話に関する方針

- ・ 当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上に資するよう、株主との建設的な対話を推進する
- ・ 株主の意見・懸念や要望は経営陣と共有し、適切に会社の運営に活かす

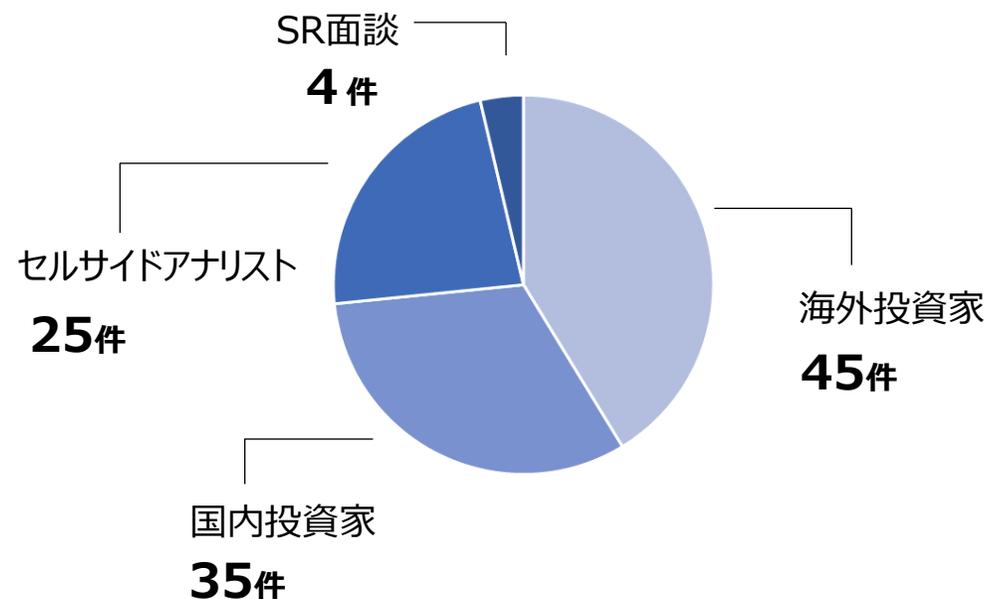
当社「コーポレートガバナンスに関する方針」より抜粋

## IR活動の主な対応者と実施状況

- 社長、副社長、CFO、経営戦略部門長、IR担当部門

決算説明会	4回	2Q、4Qは社長が登壇
スモールミーティング	3回	内、社長スモールミーティング2件
個別面談	109件	内、マネジメントによる対応12件
個人投資家向け説明	IR情報番組への社長出演、会社説明動画の掲載	

## 対話を行った株主・投資家の概要



## 対話の主なテーマと経営陣や取締役会に対するフィードバック状況

### ● 経営陣や取締役会に対するフィードバック状況

- ・ 株主・投資家との対話内容を取締役会へ報告（年2回）
- ・ マネジメントに対し、株主・投資家との対話内容を報告（毎月）

### ● 対話の主なテーマと対話を踏まえて取り入れた事項の例

対話の主なテーマや関心事項	対話を踏まえて取り入れた事項の例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外顔料事業の収益悪化の要因と対応策</li> <li>・ 構造改革事業の合理化の進捗</li> <li>・ ノンコア事業からの撤退を含む事業ポートフォリオ変革の進捗</li> <li>・ PBR1倍割れへの対応</li> <li>・ 財務健全性維持のための財務規律</li> <li>・ 株主還元方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外顔料事業の合理化計画について費用と効果を開示</li> <li>・ 構造改革事業の合理化について進捗を開示</li> <li>・ 資本効率改善に向けた取り組みの強化</li> <li>・ キャッシュ・アロケーション方針を策定</li> <li>・ 政策保有株式の縮減目標を設定</li> <li>・ 配当下限を設定し、株主還元方針を明確化</li> <li>・ 価値共創委員会を設置</li> </ul>